

シリーズ 事業戦略

日本衣料管理協会

日本衣料管理協会は、繊維ファッション業界の発展と国民の健全な衣生活への寄与のため、人材養成や調査・研究などに取り組んでいる。中でも事業の柱である「繊維製品品質管理士」(TES)の資格認定事業は、素材や加工の進化、繊維リサイクルの進展、流通・販売形態の多様化など、さまざまな変化に対応し、時代に即した人材の高度化・専門化を後押しする。その意義と展望について、島崎恒藏会長に聞いた。



会長

島崎 恒藏 氏

繊維ファッション産業支えるTES

—TES資格制度誕生の経緯を教えてください。
当協会は1971年12月、家政学部など衣料管理士(TA)の養成教育に当たる大学や短期大学、学識者で発足しました。TAは、繊維ファッション産業で活躍する女性の育成を目的に始まりました。

名称は学校によって異なりますが、生活の基盤となる衣食住や育児などを科学的に探究する家政学部は女性が多いですね。食物学専攻では「栄養士」や「管理栄養士」といった資格があり、それを生かして企業に就職できますが、被服学専攻の場合は家庭科教員が主体で、企業への就職に難しい面がありました。そこで、米国の「ホーム・エコノミスト・イン・レジデンス」(HEIB)を参考に、学校教育の成果に基づいて認定するTAをスタートしました。

—TESは既に業界で働く人材の高度化に役立つのですか。
衣料品を中心に、寝装・インテリアや産業資材など繊維製品の品質・性能の向上を図り、企業活動の合理化、消費者利益の保護に資する資格です。社内昇格・昇給や社員教育の一環として活用する企業もあります。結果的に業界関係者が多く、年齢・学歴・職歴を問わず誰でも受験できるのが特徴です。

—どのような試験内容ですか。
基礎知識を問う短答式3科目と、意見・応用力を問う記述式2科目の計5科目から成ります。短答式の3科目は「繊維に関する一般知識」「家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識」「家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識」で、記述式では繊維製品の品質・性能に関する消費者苦情などの事例問題、社会や繊維業界の現状を理解しTESとして必要な意見を問う論文問題が出題されます。

—資格取得者へのアフターフォローはありますか。
資格取得者へのアフターフォローは、企業や業種の枠を超えたTES同士の連携と、最新知識の獲得を重視した「TES会」でフォローしています。全国5支部(東日本、中部、西日本、北陸、中国)に分け、行政との連携や情報交換をはじめ、工場見学会、

資格取得後もフォロー

「TES資格制度 雇用機会均等法」施行の15年ものことでした。現在TA(4年制大学の場合は1級、短大は2級)は5万人を超え、品質管理から販売・営業、商品企画、相談業務など幅広い職種で活躍しています。ただ当然ですが、実際に繊維ファッション業界で働く人たちは、被服学系の教育を受けた人ばかりではありません。特に流通販売に携わる人は、消費者に素材やモノ作りを科学的に探究する家政学部は女性が多いですね。食物学専攻では「栄養士」や「管理栄養士」といった資格があり、それを生かして企業に就職できますが、被服学専攻の場合は家庭科教員が主体で、企業への就職に難しい面がありました。そこで、米国の「ホーム・エコノミスト・イン・レジデンス」(HEIB)を参考に、学校教育の成果に基づいて認定するTAをスタートしました。

—どのような試験内容ですか。
基礎知識を問う短答式3科目と、意見・応用力を問う記述式2科目の計5科目から成ります。短答式の3科目は「繊維に関する一般知識」「家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識」「家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識」で、記述式では繊維製品の品質・性能に関する消費者苦情などの事例問題、社会や繊維業界の現状を理解しTESとして必要な意見を問う論文問題が出題されます。

—資格取得者へのアフターフォローはありますか。
資格取得者へのアフターフォローは、企業や業種の枠を超えたTES同士の連携と、最新知識の獲得を重視した「TES会」でフォローしています。全国5支部(東日本、中部、西日本、北陸、中国)に分け、行政との連携や情報交換をはじめ、工場見学会、

—今後の展望をお願いします。
制度発足から40年以上経ち、受験者数は15年の27000人をピークに減少傾向にあります。新型コロナウイルスの影響もありました。最新の情報をダイレクトにTES制度に反映できることも強みです。TES制度は、繊維製品品質管理士(TES)の試験は、短答式3科目と、記述式2科目の計5科目から成ります。短答式の3科目は「繊維に関する一般知識」「家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識」「家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識」で、記述式では繊維製品の品質・性能に関する消費者苦情などの事例問題、社会や繊維業界の現状を理解しTESとして必要な意見を問う論文問題が出題されます。



TES会のような

TES会のような。クレーム事例勉強会、試験の講習会・実習などの活動を行っています。TES会事務局では、年6科目合格すれば「TES会通信」を発行し、こうした各支部の活動や行事予定などを紹介しています。TESは5年ごとの更新があり、取組していますが、試験で合格した科目は次の試験まで有効です。TES会事務局では、年6科目合格すれば「TES会通信」を発行し、こうした各支部の活動や行事予定などを紹介しています。



Textiles Evaluation Specialist

繊維製品品質管理士(TES)は、消費者に供給される繊維製品の品質・性能の向上を図り、製造や販売を適切な方向に導くスペシャリストです。

2024年度試験日

7月14日(日)

繊維製品品質管理士

資格試験



◆受験テキスト・願書のお申し込みはこちら
http://www.tes-shikaku.jp



一般社団法人 日本衣料管理協会